

# 山行報告書

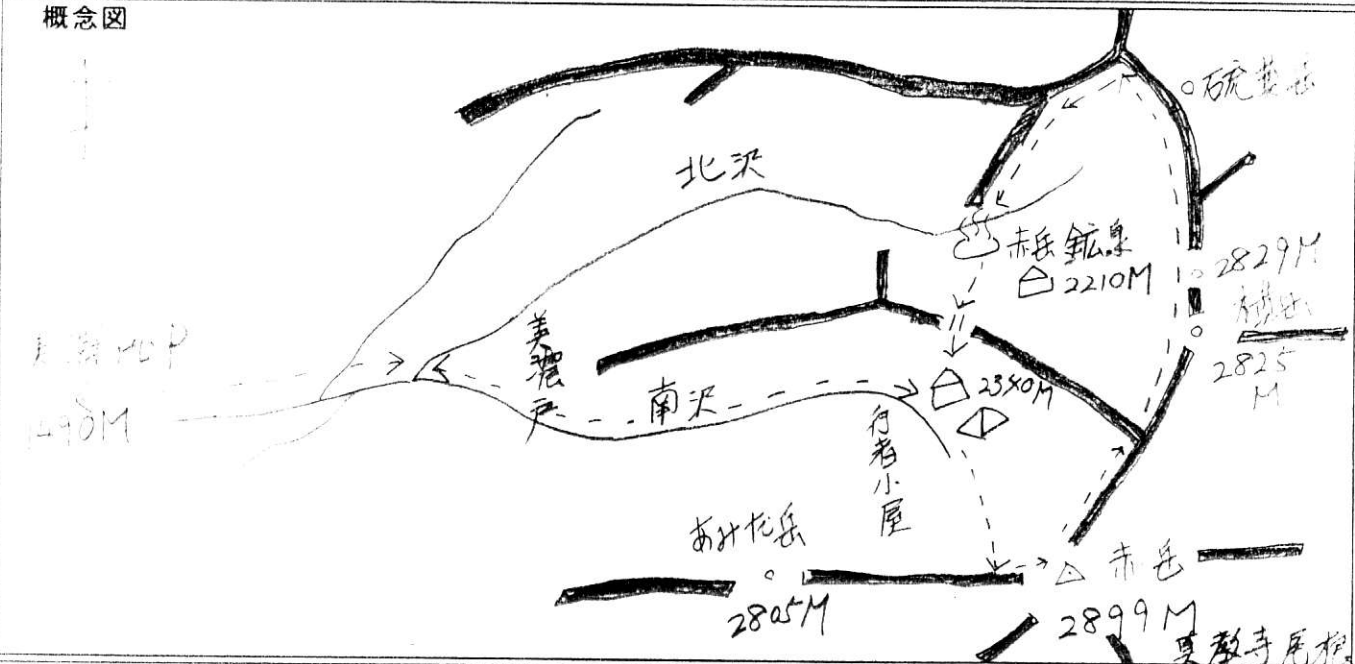
報告書作成

2008年8月6日

山名 [山域]	赤岳・横岳・硫黄岳	目的と方法	夏山下見
登山期間	2008/7/19-20	山行形態	テント泊・周回
参加人数	一名		

行動記録 美-美濃戸口(8:23-9:00)=10:13美濃戸山荘=14:14行者小屋  
 7/20(日)4:00行者小屋=文三郎=5:05中岳・赤岳分岐=5:35赤岳着=6:17地藏仏着=7:26横岳=8:20硫黄岳=10:20  
 赤岳鉱泉=11:24-12:20行者小屋=14:45美濃戸山荘着=15:50美濃戸口-20:40渥美

概念図



し。  
 水5Kgに喘いで行者小屋まで5時間かかる。頭痛がひどく夕飯はほとんど食べられない。  
 7/20(日)晴れ。  
 頭痛・疲労は軽減し、日帰り装備にて4:00赤岳にむけて文三郎尾根を進む。急な階段・くさりに喘いでやっと5:35赤岳登頂。登山者が思ったより多い。時々渋滞みられ、鎖・はしごに注意しながら7:26横岳登頂。そのまま地藏尾根経由でもどるよりも硫黄岳から赤岳鉱泉・行者と行くほうが安全と判断し硫黄岳へ向かう。コマクサの群落が八分から九分咲きでたいへんきれい。8:20硫黄岳登頂後11:24行者小屋にたどり着く。かなり疲れていてテント撤収に一時間かかる。15:50美濃戸口に着く。  
 下見の報告  
 美濃戸口から一時間半くらいはアブがまとわりつきます。虫除けスプレーは必要。3箇所虫にくわれる。暑いテント場は混むので出発を早めたほうがいい。  
 林道歩きは脚に堪えます。  
 赤岳・横岳の登り下りは結構急で道がざれているところがあります。雨天あるいは雨天後は中止のほうがよいと思います。合宿の対象の山としては少し不向きに思いました。雨天時でももう少し安全に登れる山のほうがよいと思います。ザイルを出すような場所はないですが念のために持って行く必要は感じました。